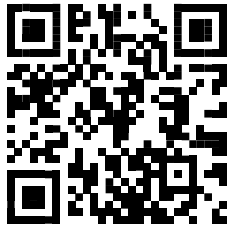


風力発電で 地域を明るく照らす



福島県いわき市 (新産業創出、人材育成)

<https://www.iwakwind.com/>

福島県では福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえ、「再生可能エネルギー先駆けの地」として、地域の一次エネルギー需要の100%を再生可能エネルギーで賄うことを目標として掲げています。

福島県いわき市は、今後福島県内に、全国でもトップレベルとなる大量の風力発電が導入されることやその産業可能性に着目し、風力発電を軸として、原子力災害で失われた浜通り地域等の産業基盤や雇用の創出を図るべく、様々な取り組みを進めています。

持続可能な地域づくりを目指して、地域のリソースと東大先端研が有する知見やネットワークとの融合を図りながら、市内企業の参入促進、新技術の研究・開発、将来を支える人材育成などに取り組んでいます。

なぜ、風力発電産業をいわき市の新たな基幹産業に？

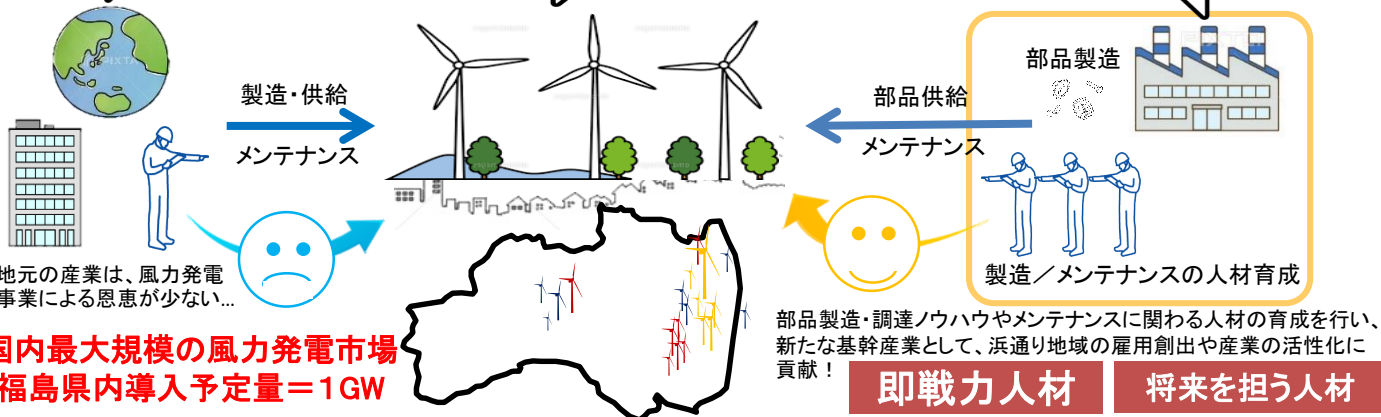
これまでと現状

- ・日本にある風車の70%近くが海外製
- ・修理部品の調達、トラブルシューティングやメンテナンスが、国外なので対応に時間がかかる

- ・風力発電所の建設まで(約10年)と、運開後の運用、メンテナンス(約20年)の費用はほぼ同じくらい
- ・故障・事故などトラブル対策は稼働率の維持に不可欠

先端研といわき市が考えるこれから

- ・いわき市には復興を支えてきた製造業をはじめとする多くの企業がある
- ・風力発電機は部品点数が多く、原発やプラントメンテの技術が応用可能
- ・メンテナンス人材の育成で産業を活性化



地元の産業は、風力発電事業による恩恵が少ない...

部品製造・調達ノウハウやメンテナンスに関わる人材の育成を行い、新たな基幹産業として、浜通り地域の雇用創出や産業の活性化に貢献！

即戦力人材

将来を担う人材